

授業科目	動物行動学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	135 時間	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1, 2, 3 年次	学期	前期・後期
担当教員	岡野 昌司 実務経験: 動物テーマパーク/飼育員、トレーナー				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物の行動について、特に犬の習性について学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	犬とはどんな動物か（習性と本能）				
②	リーダーシップの必要性と方法				
③	子犬期の接し方①				
④	子犬期の接し方②				
⑤	犬の五感				
⑥	しつけの意義				
⑦	犬の性格、性質に合ったトレーニング方法				
⑧	馴致				
⑨	分離不安①原因と症状				
⑩	分離不安②予防と対処				
⑪	犬の表現①吠え声				
⑫	犬の表現②表情				
⑬	犬の表現③ボディランゲージ				
⑭	カーミングシグナル				
⑮	犬の攻撃性の原因別分類				
⑯	権勢症候群の予防法				
⑰	権勢症候群の対処法				
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	この授業では『犬をトレーニングするためには、まず犬の事を理解すること』をテーマに学んでいく。そもそも犬とはどんな生き物なのか？を学ぶ事で、人も犬も無理なくトレーニングを行えるようになる。				
教科書・参考書・資料・参考文献	教科書				
『日本ケンネルカレッジビジネス講座 訓練オリジナルテキスト』					
監修：一般社団法人日本キャリア教育技能検定協会 学校法人つくば国際ペット専門学校					

授業科目	動物社会学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	135 時間	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1, 2, 3 年次	学期	前期・後期
担当教員	岡野 昌司		実務経験: 動物テーマパーク/飼育員・トレーナー		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
社会の中での動物の役割、扱い方などを学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	人と犬の歴史				
②	犬の種類と特徴				
③	犬の体と能力				
④	犬を取り巻く環境				
⑤	病気の予防				
⑥	病気と怪我の発見				
⑦	ドッグフードの選び方				
⑧	食べ物の与え方				
⑨	手入れと管理				
⑩	必要なマナー				
⑪	しつけの必要性				
⑫	優秀な家庭犬				
⑬	群と序列				
⑭	犬の性格				
⑮	子犬のしつけ				
⑯	問題行動の矯正				
⑰	多頭飼いの注意				
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	この授業を受講した学生がいずれ就職先などで一般の飼い主様からの質問に対し適切にアドバイスができる立派な「愛犬相談員」を目指して欲しい。				
教科書・参考書・資料・参考文献					

授業科目	犬学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	135 時間	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1, 2, 3 年次	学期	前期・後期
担当教員	酒井 晴子		実務経験: 動物テーマパーク/飼育員、動物看護師		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬の種類、習性、しつけ等について学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は教科書を用いた講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	オリエンテーション、犬学の概要		⑱	犬の正常行動 2	
②	「人と犬」の歴史について		⑲	犬の正常行動 3	
③	犬種が多くなった理由		⑳	犬の正常行動 4	
④	犬種による性格の違い 1		㉑	犬のコミュニケーションについて	
⑤	犬種による性格の違い 2		㉒	子犬の行動発達	
⑥	初めての犬との接し方		㉓	犬の問題行動 1	
⑦	犬の飼育とは 1		㉔	犬の問題行動 2	
⑧	犬の飼育とは 2		㉕	犬の問題行動 3	
⑨	高温多湿の季節に増加する皮膚トラブル		㉖	犬の問題行動 4	
⑩	犬の肥満について		㉗	犬の問題行動 5	
⑪	犬の耳の形、尾の形		㉘	犬の問題行動の予防と治療 1	
⑫	雌犬の発情サイクルについて		㉙	犬の問題行動の予防と治療 2	
⑬	雄犬の繁殖生理について		㉚	犬の問題行動の予防と治療 3	
⑭	犬の毛質・色について		㉛	犬の問題行動の予防と治療 4	
⑮	ワクチンとは		㉜	ペットショップの生体販売の問題点 1	
⑯	子犬のワクチンワーク		㉝	ペットショップの生体販売の問題点 2	
⑰	犬の正常行動 1		㉞	犬の登録について	
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	犬に関する基礎知識をしっかり身につけ、将来の職業に役立つ内容を中心に指導していますので、お客様から信頼されるスタッフになってもらいたい。				
教科書・参考書・資料・参考文献	教科書				
署名:「イラストで見る犬学」監修 林良博 出版社 講談社					
署名:「コンパニオンアニマルの健康管理学」著者 浅野妃美・浅野隆司 出版社 インターズー					

授業科目	猫学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	135 時間	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1, 2, 3 年次	学期	前期・後期
担当教員	寺崎 修司		実務経験:動物テーマパーク/飼育員		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
猫の種類、習性、飼い方等について学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
この科目では講義を中心に行うが、実習という形で実際に猫に触れ、犬との違いを学んでいく。 授業は講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	猫の起源				
②	習性と生態①(単独行動・捕食性行動)				
③	習性と生態②(排泄行動・マーキング行動)				
④	習性と生態③(グルーミング)				
⑤	五感①(聴覚・視覚・嗅覚)				
⑥	五感②(味覚・触覚)				
⑦	体の仕組み①(歯・爪・肉球)				
⑧	体の仕組み②(皮膚・被毛・筋肉・骨格)				
⑨	体の仕組み③(実習)				
⑩	繁殖①				
⑪	繁殖②				
⑫	かかりやすい疾患①(尿石症)				
⑬	かかりやすい病気②(腎不全)				
⑭	栄養管理				
⑮	猫の種類①(ボディタイプ)				
⑯	猫の種類②(カラー・コート)				
⑰	猫の種類③(人気猫種)				
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	年々飼育数が増えてきている猫について講義と実習で犬との違いなど、正しい知識を身に付けて貰いたい。				
教科書・参考書・資料・参考文献	教科書				
書名：イラストでみる猫学/著者：林良博/出版社：株式会社講談社/出版年：2011年					

授業科目	スタンダード学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	135 時間	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	酒井 晴子		実務経験：動物テーマパーク／飼育員、動物看護師		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬種についての原産、特長、標準体型などを学習する。各犬種の理想像を学ぶことで、トリミングをする犬の体形の長所・短所を理解し、更にカットで補うテクニックの習得につながる。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義が中心となる。					
授業計画・内容					
①	スタンダードとは	⑮	ダルメシアン		
②	犬体名称	⑯	柴		
③	骨格名称	⑰	ポメラニアン		
④	歯・咬み合せ	⑱	ボーダー・コリー		
⑤	全犬種の 10 グループの区分についての説明	⑳	ブルドッグ		
⑥	プードル①	㉑	ミニチュア・シュナウザー		
⑦	プードル②	㉒	エアデール・テリア		
⑧	ゴールデン・レトリバー	㉓	ウェルシュ・コーギー		
⑨	チワワ	㉔	フレンチ・ブルドッグ		
⑩	ダックス・フント	㉕	アフガン・ハウンド		
⑪	マルチーズ	㉖	シーズー		
⑫	シェットランド・シープドッグ	㉗	日本スピッツ		
⑬	パグ	㉘	ヨークシャー・テリア		
⑭	パピヨン	㉙	グレート・ピレニーズ		
⑮	アメリカン・コッカー・スパニエル	㉚	ジャック・ラッセル・テリア		
⑯	ラブラドル・レトリバー	㉛	チャウチャウ		
⑰	ビーグル	㉜	ボルゾイ		
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	犬には犬種ごとに決められた理想像があり、ドッグショーの審査、ブリーディング計画、トリミングの基準に必要である。身近な犬種でも専門的な観点から見ると学ぶことが多い。				
教科書・参考書・資料・参考文献					
書名	『JKC 全犬種標準書 第 11 版』		発行所	一般社団法人 ジャパン ケネル クラブ	

授業科目	基本情報処理				
必修・選択	必修	時間数	135 時間		
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1, 2, 3 年次	学期	前期・後期
担当教員	宮本 登美江				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
社会において不可欠な IT、経営全般に関する総合的な知識を学習します。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					
①	I.ストラテジ系 ①企業活動	⑮	III.テクノロジー系 ⑥ハードウェア		
②	I.ストラテジ系 ②法務	⑯	III.テクノロジー系 ⑦情報デザイン		
②	I.ストラテジ系 ③経営戦略マネジメント	⑰	III.テクノロジー系 ⑧情報メディア		
③	I.ストラテジ系 ④技術戦略マネジメント	⑱	III.テクノロジー系 ⑨データベース		
④	I.ストラテジ系 ⑤ビジネスインダストリ	⑳	III.テクノロジー系 ⑩ネットワーク		
⑤	I.ストラテジ系 ⑥システム戦略	㉑	III.テクノロジー系 ⑪セキュリティ		
⑥	I.ストラテジ系 ⑦システム企画	㉒	総括 まとめ		
⑦	II.マネジメント系 ①システム開発技術				
⑧	II.マネジメント系 ②ソフトウェア開発管理技術				
⑨	II.マネジメント系 ③プロジェクトマネジメント				
⑩	II.マネジメント系 ④サービスマネジメント				
⑪	II.マネジメント系 ⑤システム監査				
⑫	III.テクノロジー系 ①基礎理論				
⑬	III.テクノロジー系 ②アルゴリズムとプログラミング				
⑭	III.テクノロジー系 ③コンピュータ構成要素				
⑮	III.テクノロジー系 ④システム構築要素				
⑯	III.テクノロジー系 ⑤ソフトウェア				
授業計画・内容					
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	どの職種に就いた場合でも IT に関する知識を求められます。また「IT 力」を持った人材を企業は求めています。				
教科書・参考書・資料・参考文献	テキスト				

授業科目	動物飼養管理学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	135 時間	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1, 2, 3 年次	学期	前期・後期
担当教員	小寺 智也		実務経験: 動物テーマパーク/飼育員、トレーナー		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物に関連する法律、動物と人間の歴史、動物の飼養方法などを学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は指定教本を用いた講義を中心とする。動物分野を幅広く学び、将来の就職に役立てる人材育成を目指す。また愛玩動物飼養管理士 3 級資格の取得を目指す。授業は講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	愛玩動物飼養管理士とは				
②	動物の適正飼養相談				
③	動物観 西洋～東洋				
④	人と動物の関係学				
⑤	動物の愛護及び管理に関する法律 1				
⑥	動物の愛護及び管理に関する法律 2				
⑦	動物の愛護及び管理に関する法律 3				
⑧	動物の愛護及び管理に関する法律 4				
⑨	動物の愛護及び管理に関する法律 5				
⑩	関連法規				
⑪	動物の体と仕組みについて				
⑫	健康増進と疾病予防				
⑬	衛生管理				
⑭	動物の飼養管理 犬・猫他				
⑮	動物の飼養管理 小鳥・小動物他				
⑯	動物の飼養管理 爬虫類他				
⑰	資格試験対策				
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	動物を扱う人として、幅広い知識と意識を持つことは不可欠です。人と動物の関係という広い視野で学び、社旗に役立てる人材になってほしい。				
教科書・参考書・資料・参考文献	教本				
書名:「愛玩動物飼養管理士 2 級教本 1・2 巻」					

授業科目	ペットビジネス学				
必修・選択	必修		時間数	135 時間	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1, 2, 3 年次	学期	前期・後期
担当教員	宮本 登美江				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
ペット関連の様々な業種、仕事内容、現状などを学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業を通してまずはペット業界に関連する職業を内容と共に紹介し、そこで働き続けるためにはどのような知識が必要か、そして就職活動の手助けとなるような講義を目指す。					
授業計画・内容					
①	ペット産業について		⑱	日常での正しい子犬との接し方	
②	ペット業界に関わる職業①		⑲	犬種選定（性格）	
③	ペット業界に関わる職業②		⑳	犬種選定（性別）	
④	ペット産業の歴史		㉑	犬種選定（純血種、雑種）	
⑤	ペットショップの責務①		㉒	犬種選定（子犬、成犬）	
⑥	ペットショップの責務②		㉓	犬種選定（大型、小型）	
⑦	動物の愛護及び管理に関する法律①		㉔	犬種選定（室内、室外）	
⑧	動物の愛護及び管理に関する法律②		㉕	犬種選定（長毛、短毛）	
⑨	動物の愛護及び管理に関する法律③		㉖	子犬の健康チェック①	
⑩	人気犬種の変遷		㉗	子犬の健康チェック②	
⑪	しつけと訓練		㉘	子犬の健康チェック③	
⑫	小動物販売		㉙	生体の仕入れ①	
⑬	ペットフード業界		㉚	生体の仕入れ①	
⑭	ペットフードの歴史		㉛	血統書の見方①	
⑮	卸売業界		㉜	血統書の見方②	
⑯	ペットフードの安全性①		㉝	血統書の見方③	
⑰	ペットフードの安全性②		㉞	一胎子登録申請書の書き方	
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	授業を通してまずはペット業界に関連する職業を知り、そこで働き続けるためにはどのような知識が必要かなどを学習し、どの業種に就いても即戦力となって活躍してもらいたい。				
教科書・参考書・資料・参考文献	教科書				
『ペットビジネス プロ養成講座 vpl.1 ペットショップ』 出版社：インターズー					

授業科目	ペットビジネス学				
必修・選択	必修	時間数	135 時間		
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1, 2, 3 年次	学期	前期・後期
担当教員	宮本 登美江				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
ペット関連の様々な業種、仕事内容、現状などを学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業はテキストや配布資料を用いた講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	日本のペット産業概論				
②	ペットの販売に関する職業倫理				
③	ペットの販売に関する法律				
④	ペットの歴史と生体（犬）				
⑤	ペットの歴史と生体（猫）				
⑥	ペットの歴史と生体（小動物）				
⑦	犬・猫の繁殖と遺伝				
⑧	ペットの飼育と管理				
⑨	犬と猫の行動学としつけ				
⑩	ペットの栄養学				
⑪	ペットショップの売り場づくり				
⑫	商品別販売のポイント				
⑬	ペットショップの仕入れ業務				
⑭	在庫管理の基礎知識				
⑮	販売管理の基礎知識				
⑯	接客とマナー				
⑰	店内における接客の注意点				
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	即戦力となれるよう、現場で求められる知識と技術の修得を目指します。				
教科書・参考書・資料・参考文献					

授業科目	動物形態機能学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	135 時間	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1, 2, 3 年次	学期	前期・後期
担当教員	酒井 晴子 実務経験:動物テーマパーク/飼育員、動物看護師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物の生命維持の仕組みと解剖学及び生理学の基礎を知り、動物体の構造と機能について学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	形態機能概論①		⑱	外部環境からの防御	
②	形態機能概論②		⑲	情報の受容と処理	
③	犬と猫の体の構造と機能①		⑳	感覚と情報伝達	
④	犬と猫の体の構造と機能②		㉑	外部環境からの防御①	
⑤	鳥の体の構造と機能		㉒	外部環境からの防御②	
⑥	ウサギの体の構造と機能		㉓	情報の受容と処理①	
⑦	産業動物の体の構造と機能		㉔	情報の受容と処理②	
⑧	犬と猫の骨格系		㉕	感覚と情報伝達①	
⑨	循環器の構成		㉖	感覚と情報伝達②	
⑩	心臓の生理的機能		㉗	からだの支持と運動①	
⑪	抹消循環器系の構造		㉘	からだの支持と運動②	
⑫	血液の循環の調整		㉙	栄養の消化と吸収①	
⑬	リンパとリンパ管		㉚	栄養の消化と吸収②	
⑭	呼吸器の構造		㉛	内臓機能の調整①	
⑮	呼吸器系の働き		㉜	内臓機能の調整②	
⑯	呼吸系の病態生理		㉝	体液の調整と尿の生成①	
⑰	血液		㉞	体液の調整と尿の生成②	
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対する メッセージ	各種動物の体の構造や名称、役割などを学習する。				
教科書・参考書・資料・参考文献					
書名：「動物看護コアテキスト 第3巻」 出版社 ファームプレス					

授業科目	動物病理学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	135 時間	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1, 2, 3 年次	学期	前期・後期
担当教員	酒井 晴子 実務経験:動物テーマパーク/飼育員、動物看護師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
生理機能の障害からどのように病気が発生し、どのように変化し、どのように回復するかを理解する。また病変の特徴や分類、名称、検査方法、専門用語を理解する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	動物病理学概論				
②	細胞障害① 壊死とアポトーシス				
③	細胞障害② 物質と沈着				
④	循環障害① 充血とうっ血				
⑤	循環障害② 血栓、止血、塞栓と栓塞				
⑥	循環障害③ ショック				
⑦	退行性病変				
⑧	進行性病変				
⑨	炎症① 変性と滲出				
⑩	炎症② 炎症の種類				
⑪	先天異常				
⑫	免疫異常① 免疫反応と担当細胞				
⑬	免疫異常② アレルギー型				
⑭	腫瘍① 総論				
⑮	腫瘍② 転移と佐生×				
⑯	腫瘍③ 良性と悪性の違い				
⑰	腫瘍④ 肉腫と癌腫				
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	将来動物病院で勤務する際に犬猫の病気を病理学的な側面から理解し、検査や処置の意義を理解したうえで行うことができるようにする				
教科書・参考書・資料・参考文献					
書名:「動物看護コアテキスト 第3巻」 出版社 ファームプレス					

授業科目	飼育管理学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2 年次	学期	前期・後期
担当教員	小寺 智也		実務経験:動物テーマパーク/飼育員、トレーナー		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物飼育の方法について学ぶ。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業はテキストや配布資料を用いた講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	適正いくとは何か				
②	適正な飼育環境①（ハードウェア編）				
③	適正な飼育環境②（ソフトウェア編）				
④	犬の生活リズムと家族の生活リズムの関係性				
⑤	睡眠が果たす役割				
⑥	犬種毎の特性と運動量				
⑦	犬の熱管理				
⑧	熱中症対策				
⑨	過食				
⑩	摂食障害				
⑪	空間的自由を満たす事とは				
⑫	社会的ふれあいの必要性				
⑬	探索行動欲求を満たす事で果たせるもの				
⑭	病気と高齢化				
⑮	老化対策				
⑯	老化のプロセス				
⑰	ペットロスについて				
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	犬の健康管理と適正な飼育方法・飼育環境作りを目的にしています。				
教科書・参考書・資料・参考文献					

授業科目	ペットシッター概論		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間×3 (合計 270 時間)	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	小寺 智也		実務経験: 動物テーマパーク/飼育員・トレーナー		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
ペットシッターの役割とあり方などをモデルケースを挙げて学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
トレーニング実習で行う事の理解を深めるため、実習に合わせた内容で理論の学習・グループディスカッションを行う。					
授業計画・内容					
①	ペットシッター概論① 歴史		⑱	ハムスターとモルモット①	
②	ペットシッター概論② 役割		⑲	ハムスターとモルモット②	
③	ペットシッター概論③ 起業するまでⅠ		⑳	ハムスターとモルモット③	
④	ペットシッター概論④ 起業するまでⅡ		㉑	うさぎとフェレット①	
⑤	ペットシッター概論⑤ 起業するまでⅢ		㉒	うさぎとフェレット②	
⑥	犬と猫① (体の構造・特性・習性)		㉓	うさぎとフェレット③	
⑦	犬と猫② (種類・運動能力)		㉔	アクアリウム① 海水魚について	
⑧	犬と猫③ (繁殖)		㉕	アクアリウム② 淡水魚について	
⑨	猫の病気①		㉖	アクアリウム③ 餌と管理	
⑩	猫の病気②		㉗	アクアリウム④ 水槽メンテナンスⅠ	
⑪	猫の健康チェックとケア①		㉘	アクアリウム⑤ 水槽メンテナンスⅡ	
⑫	猫の健康チェックとケア②		㉙	アクアリウム⑥ 水槽メンテナンスⅢ	
⑬	ケーススタディ①		㉚	ケーススタディ⑥	
⑭	ケーススタディ②		㉛	ケーススタディ⑦	
⑮	ケーススタディ③		㉜	ケーススタディ⑧	
⑯	ケーススタディ④		㉝	ケーススタディ⑨	
⑰	ケーススタディ⑤		㉞	ケーススタディ⑩	
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ					
教科書・参考書・資料・参考文献					

授業科目	しつけ訓練学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間×3 (合計 270 時間)	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	岡野 昌司		実務経験: 動物テーマパーク/飼育員・トレーナー		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬の習性、骨格、気質などを理解し、その訓練方法を学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心に行う。					
授業計画・内容					
⑮	犬の習性と行動		⑮	問題行動の発達 (行動ニーズとストレスの影響)	
⑯	オオカミ理論と犬との差異と共通点		⑯	問題行動治療の理論	
⑰	選択育種と現代の犬		⑰	問題行動治療の対処 (攻撃性)	
21	社会化期と社会化の役割		⑳	問題行動治療の対処 (無駄吠え)	
22	行動の分類		㉑	問題行動治療の対処 (不適切な排泄)	
23	正常行動と問題行動		㉒	問題行動治療の対処 (異常な恐怖心)	
24	問題行動と異常行動の違い		㉓	問題行動治療の対処 (活動性・行き過ぎた興奮)	
25	問題行動の定義		㉔	問題行動治療の対処 (その他)	
26	飼育環境と問題行動の定義の変化		㉕	好ましい行動の強化 (定時隔スケジュール)	
27	犬の学習と行動理由		㉖	好ましい行動の強化 (定率隔スケジュール)	
28	問題行動の発現理由		㉗	定時隔・定率隔スケジュールの問題点	
29	に影響を与えるもの		㉘	好ましい行動の強化 (変時隔スケジュール)	
30	問題行動の発達 (遺伝子的要因の影響)		㉙	好ましい行動の強化 (変率隔スケジュール)	
31	問題行動の発達 (生理学的要因の影響)		㉚	変時・変率隔スケジュールの注意点	
32	問題行動の発達 (社会化期の経験の影響)		㉛	問題行動事例に対するグループディスカッション及び発表 ①	
33	問題行動の発達 (広義の学習の影響)		㉜	問題行動事例に対するグループディスカッション及び発表 ②	
34	問題行動の発達 (飼育環境の影響)		㉝	問題行動事例に対するグループディスカッション及び発表 ③	
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対する メッセージ	トレーニング実習で必要な理論について学習する。 実習で行っているトレーニング方法の裏付けとしての役割を果たす。				
教科書・参考書・資料・参考文献					

授業科目	アジリティ実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間×3 (合計 270 時間)	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	岡野 昌司 実務経験:動物テーマパーク/飼育員、トレーナー				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
アジリティの練習を実習で行う。					
授業方法・形態	実習	講師			
実習を中心とする。一人ずつ実技を行うことで、各自の技術を高めることに加え、ほかのペア（生徒と犬）の実技を見ることで犬にあった教え方を学ぶことができる。					
授業計画・内容					
①	アジリティーに必要な服従訓練		⑱	バックスイッチを含むハンドリング①	
②	トンネルの基礎練習		⑲	" ②	
③	トンネル（ストレート）の左サイド練習		⑳	" ③	
④	" 右サイド練習		㉑	ハードル、トンネルのコース練習 ①	
⑤	トンネル（カーブ）の左サイド練習		㉒	" ②	
⑥	" 右サイド練習		㉓	" ③	
⑦	ハードルの基礎練習 ①		㉔	" ④	
⑧	" ②		㉕	ドッグウォークの基礎練習 ①	
⑨	右回り、左回りの誘導練習		㉖	" ②	
⑩	ハードル、トンネルのシーケンス右サイド①		㉗	" ③	
⑪	" ②		㉘	A フレーム ①	
⑫	" 左サイド①		㉙	" ②	
⑬	" ②		㉚	" ③	
⑭	フロントスイッチを含むハンドリング①		㉛	競技会ビギナーレベルのコース練習①	
⑮	" ②		㉜	" ②	
⑯	" ③		㉝	" ③	
⑰	前期実技試験		㉞	後期実技試験	
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	アジリティーを通して犬とのコミュニケーションをさらに高めると共に、アジリティーの楽しさやコミュニケーションの大切さを学ぶ。				
教科書・参考書・資料・参考文献					

授業科目	グルーミング概論		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間×3 (合計 270 時間)	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2 年次	学期	前期・後期
担当教員	高島 文乃		実務経験：トリミングサロン／トリマー		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬の手入れ方法、道具の使い方等を犬種別に学習する。1 年次の実習でトリミングをするカットスタイルの基礎を学ぶ。感覚だけでカットするだけではなく、概論を理解することでカット技術の向上を目的とする。					
授業方法・形態	講義、実習	講師			
講義でカットの手順、形の作り方を説明した後に実践を通して更に細かいテクニックを学ぶ。					
授業計画・内容					
①	道具の名称・用途	⑱	ミニチュア・シュナウザー概論②		
②	道具の使い方	⑲	ミニチュア・シュナウザー実践①		
③	グルーミング作業の説明①	⑳	ミニチュア・シュナウザー実践②		
④	グルーミング作業の説明②	㉑	テディベアカット概論①		
⑤	ケネル&ラムクリップ概論①	㉒	テディベアカット概論②		
⑥	ケネル&ラムクリップ概論②	㉓	テディベアカット実践①		
⑦	ケネル&ラムクリップ実践①	㉔	テディベアカット実践②		
⑧	ケネル&ラムクリップ実践②	㉕	アメリカン・コッカー・スパニエル概論①		
⑨	サマーカット概論①	㉖	アメリカン・コッカー・スパニエル概論②		
⑩	サマーカット概論②	㉗	アメリカン・コッカー・スパニエル実践①		
⑪	サマーカット実践①	㉘	アメリカン・コッカー・スパニエル実践②		
⑫	サマーカット実践②	㉙	ケリー・ブルー・テリア概論①		
⑬	シェットランド・シープドッグ概論①	㉚	ケリー・ブルー・テリア概論②		
⑭	シェットランド・シープドッグ概論②	㉛	ケリー・ブルー・テリア概論③		
⑮	シェットランド・シープドッグ実践①	㉜	ケリー・ブルー・テリア実践①		
⑯	シェットランド・シープドッグ実践②	㉝	ケリー・ブルー・テリア実践②		
⑰	ミニチュア・シュナウザー概論①	㉞	ケリー・ブルー・テリア実践③		
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	トリミングをする上では必要不可欠な授業である。一つ一つのカットには概論があり、それを十分理解しないとカットの仕上がりがイメージできない。形をイメージすることはとても大事なことで技術向上のカギになる。				
教科書・参考書・資料・参考文献					
書名『最新ドッグ グルーミング マニュアル』	発行所 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ				

授業科目	トリミング概論		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間×3 (合計 270 時間)	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	高島 文乃		実務経験：トリミングサロン／トリマー		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬のカットスタイルについて犬種、スタイル別に必要な技術とともに学習する。感覚だけでカットするだけではなく、概論を理解することでカット技術の向上を目的とする。					
授業方法・形態	講義	講師			
座学でカットの手順、形の作り方を説明した後に実践を通して更に細かいテクニックを学ぶ。					
授業計画・内容					
①	ビション・フリーゼ概論①		⑮	エアデール・テリア実践②	
②	ビション・フリーゼ概論②		⑰	パジャマ・ダッチ・クリップ概論①	
③	ビション・フリーゼ実践①		⑳	パジャマ・ダッチ・クリップ概論②	
④	ビション・フリーゼ実践②		㉑	パジャマ・ダッチ・クリップ実践①	
⑤	犬体用語		㉒	パジャマ・ダッチ・クリップ実践②	
⑥	グルーミング用語		㉓	ベドリントン・テリア概論①	
⑦	コンチネンタル・クリップ概論①		㉔	ベドリントン・テリア概論②	
⑧	コンチネンタル・クリップ概論②		㉕	ベドリントン・テリア実践①	
⑨	コンチネンタル・クリップ実践①		㉖	ベドリントン・テリア実践②	
⑩	コンチネンタル・クリップ実践②		㉗	ロイヤル・ダッチ・クリップ概論①	
⑪	イングリッシュ・サドル・クリップ概論①		㉘	ロイヤル・ダッチ・クリップ概論②	
⑫	イングリッシュ・サドル・クリップ概論②		㉙	ロイヤル・ダッチ・クリップ実践①	
⑬	イングリッシュ・サドル・クリップ実践①		㉚	ロイヤル・ダッチ・クリップ実践②	
⑭	イングリッシュ・サドル・クリップ実践②		㉛	ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリア概論①	
⑮	エアデール・テリア概論①		㉜	ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリア概論②	
⑯	エアデール・テリア概論②		㉝	ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリア実践①	
⑰	エアデール・テリア実践①		㉞	ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリア実践②	
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	トリミングをする上では必要不可欠な授業である。一つ一つのカットには概論があり、それを十分理解しないとカットの仕上がりがイメージできない。形をイメージすることはとても大事なことで技術向上のカギになる。				
教科書・参考書・資料・参考文献					
書名『最新ドッグ グルーミング マニュアル』	発行所 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ				

授業科目	ハンドリング実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間×3 (合計 270 時間)	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	高島 文乃 実務経験:トリミングサロン/トリマー				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
ドッグショーでの犬の扱い方、歩かせ方などを実習で習得する。					
授業方法・形態	講義	講師			
講義と実践形式で授業を進める。					
授業計画・内容					
①	ハンドリングとは①				
②	ハンドリングとは②				
③	ハンドリングの歴史①				
④	ハンドリングの歴史②				
⑤	スタックの基本的な手順・実践				
⑥	小型犬のスタックの手順・実践				
⑦	大型犬のスタックの手順・実践				
⑧	ドッグショーでの審査基準				
⑨	ハンドリングとドッグショーのつながり①				
⑩	ハンドリングとドッグショーのつながり②				
⑪	リードのかけ方・持ち方・実践				
⑫	歩行の解説・実践①				
⑬	歩行の解説・実践②				
⑭	スタックの実践				
⑮	犬種ごとのショーグルーミング・スタック・歩様①				
⑯	犬種ごとのショーグルーミング・スタック・歩様②				
⑰	ドッグショーでのマナーとルール				
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	トリマーの活躍ば場の一つとしてドッグショーがある。ペットカットとショートリミングの両方ができるトリマーは貴重な人材になる。そのドッグショーで犬を引くトリマーも珍しくない。スタンダードに近づけるためカット、スタックとテクニックを磨く。				
教科書・参考書・資料・参考文献					
書名	『ハンドリング マニュアル』		発行所	一般社団法人 ジャパンケネルクラブ	

授業科目	動物看護学概論		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	90 時間×3 (270 時間)	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	酒井 晴子		実務経験: 動物テーマパーク/飼育員、動物看護師		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
小動物医療における動物看護師の職域を確立するため多岐にわたる獣医師の業務を理解し、動物看護技術を学習する。					
授業方法・形態	講義	講師	単独		
講義の授業を中心とする。					
授業計画・内容					
①	動物看護の基本概念①				
②	動物看護の基本概念②				
③	動物看護の基本概念③				
④	動物看護の基本概念④				
⑤	動物看護の基本概念⑤				
⑥	動物看護の基本概念⑥				
⑦	動物看護の提供体制①				
⑧	動物看護の提供体制②				
⑨	動物看護の提供体制③				
⑩	動物看護の提供体制④				
⑪	動物看護の提供体制⑤				
⑫	動物看護の提供体制⑥				
⑬	愛玩動物看護師の社会的立場①				
⑭	愛玩動物看護師の社会的立場②				
⑮	愛玩動物看護師の社会的立場③				
⑯	愛玩動物看護師の社会的立場④				
⑰	愛玩動物看護師の社会的立場⑤				
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	獣医師の業務を知ること、動物看護師として、または動物に携わる者としての知識と技術を身に付ける。				
教科書・参考書・資料・参考文献	参考資料/必要に応じて資料を配布				
書名:「動物看護コアテキスト 第3巻」 出版社 ファームプレス					

授業科目	動物臨床看護学総論		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	90 時間×3 (270 時間)	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	酒井 晴子 実務経験：動物テーマパーク／飼育員、動物看護師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物看護師の役割、目的などを明確に理解し、臨床現場に於いての動物看護師の役割について学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	動物看護過程の展開①				
②	動物看護過程の展開②				
③	動物看護過程の展開③				
④	動物看護過程の展開④				
⑤	動物看護過程の展開⑤				
⑥	動物看護過程の展開⑥				
⑦	診療記録①				
⑧	診療記録②				
⑨	動物看護業務①				
⑩	動物看護業務②				
⑪	動物看護業務③				
⑫	動物看護業務④				
⑬	動物看護業務⑤				
⑭	動物看護業務⑥				
⑮	ターミナルケア①				
⑯	ターミナルケア②				
⑰	ターミナルケア③				
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	動物病院での動物看護師の役割を理解し、基本的な看護の知識を身につける。				
教科書・参考書・資料・参考文献					
書名：「動物看護コアテキスト 第4巻」 出版社 ファームプレス					

授業科目	動物臨床看護学各論		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間×3 (合計 270 時間)	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	酒井 晴子 実務経験:動物テーマパーク/飼育員、動物看護師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物看護師の役割、目的などを明確に理解し、臨床現場に於いての動物看護師の役割について学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	動物看護学概論①		⑱	症状別の動物看護～多飲多尿②～	
②	動物看護学概論②		⑲	循環器障害を持つ動物の看護①	
③	動物看護師の倫理綱領		⑳	循環器障害を持つ動物の看護②	
④	動物看護の看護技術について		㉑	呼吸器障害を持つ動物の看護①	
⑤	動物看護の観察		㉒	呼吸器障害を持つ動物の看護②	
⑥	記録と報告		㉓	栄養摂取・代謝障害を持つ動物の看護①	
⑦	症状別の動物看護～痛み①～		㉔	栄養摂取・代謝障害を持つ動物の看護②	
⑧	症状別の動物看護～痛み②～		㉕	生体防御機能障害を持つ動物の看護①	
⑨	症状別の動物看護～かゆみ①～		㉖	生体防御機能障害を持つ動物の看護②	
⑩	症状別の動物看護～かゆみ②～		㉗	神経・運動機能障害を持つ動物の看護①	
⑪	症状別の動物看護～嘔吐①～		㉘	神経・運動機能障害を持つ動物の看護②	
⑫	症状別の動物看護～嘔吐②～		㉙	繁殖機能障害を持つ動物の看護	
⑬	症状別の動物看護～排便異常①～		㉚	排泄機能障害を持つ動物の看護	
⑭	症状別の動物看護～排便異常②～		㉛	担がん動物の看護	
⑮	症状別の動物看護～食欲不振①～		㉜	高齢動物の看護	
⑯	症状別の動物看護～食欲不振②～		㉝	経過に基づく動物の看護	
⑰	症状別の動物看護～多飲多尿①～		㉞	周術期の動物の看護	
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ					
教科書・参考書・資料・参考文献					

授業科目	繁殖学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間×3 (合計 270 時間)	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	寺崎 修司		実務経験: 動物テーマパーク/飼育員		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬や猫の生殖器の構造と機能、性行動及び発情・交尾・妊娠・分娩の過程を学ぶ。ペットに適正な繁殖についても学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
この科目では、一般的なコンパニオンアニマルである犬・猫を中心に講義を行う。 それぞれの繁殖生理を理解し、動物種による違いを学ぶ。					
授業計画・内容					
①	繁殖とは				
②	生殖とその分類				
③	生殖器の分類と仕組み①(雄の生殖器)				
④	生殖器の分類と仕組み②(雌の生殖器)				
⑤	生殖活動に関連するホルモン				
⑥	性成熟と発情周期①(犬/周年繁殖動物)				
⑦	性成熟と発情周期②(猫/季節繁殖動物)				
⑧	排卵(自然排卵と交尾排卵)				
⑨	自然交配と人工授精				
⑩	妊娠(妊娠期間・妊娠診断)				
⑪	分娩①(出産準備・出産兆候)				
⑫	分娩②(自然分娩)				
⑬	分娩③(難産の徴候と対策)				
⑭	分娩④(帝王切開)				
⑮	出産後の母犬の管理・新生子の管理				
⑯	先天異常(形態的な奇形・遺伝性疾患)				
⑰	避妊と去勢				
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	一般的なコンパニオンアニマルである犬や猫の繁殖生理を理解するという事は、望まない繁殖を防ぐ事にも繋がる。ペットオーナーに説明出来るように理解を深めて貰いたい。				
教科書・参考書・資料・参考文献	参考資料/必要に応じて資料を配布				
書名: 最新版 愛犬の繁殖と育児百科/著者: 小川雄一/出版社: 株式会社誠文堂新光社/出版年: 2013 年					
書名: 犬の繁殖と育児がわかる/著者: 小川雄一/出版社: 株式会社誠文堂新光社/出版社: 2010 年					
入手方法: 一般書店、ネット購入					

授業科目	パピートレーニング学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間×3 (合計 270 時間)	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	寺崎 修司 実務経験:動物テーマパーク/飼育員				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
子犬のトイレ、ハウス、リードトレーニングのほか、人間社会に慣らすための訓練を学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心に行う。					
授業計画・内容					
①	子犬の成長過程① 胎児期・新生子期		②	子犬と生活音③	
③	子犬の成長過程② 移行期		④	犬の言葉 (ボディランゲージ) ①	
⑤	子犬の成長過程③ 社会化期初期		④	犬の言葉 (ボディランゲージ) ②	
④	子犬の成長過程④ 社会化期中期		⑫	リードに慣れる①	
⑤	子犬の成長過程⑤ 社会化期後期		⑫	リードに慣れる②	
⑥	子犬の成長過程⑥ 若年期		⑬	子犬のトイレトレーニング①	
⑦	子犬の社会化①		⑭	子犬のトイレトレーニング②	
⑧	子犬の社会化②		⑮	子犬のトイレトレーニング③	
⑨	子犬の社会化③		⑯	クレートトレーニング①	
⑩	子犬の社会化④		⑰	クレートトレーニング②	
⑪	子犬を迎える前に①		⑱	クレートトレーニング③	
⑫	子犬を迎える前に②		⑲	クレートトレーニング④	
⑬	子犬がやってきました①		⑳	子犬の噛み癖対処法①	
⑭	子犬がやってきました②		㉑	子犬の噛み癖対処法②	
⑮	子犬がやってきました③		㉒	犬のストレス①	
⑯	子犬と生活音①		㉓	犬のストレス②	
⑰	子犬と生活音②		㉔	犬のストレス③	
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ					
教科書・参考書・資料・参考文献					

授業科目	グルーミング実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間×3 (合計 270 時間)	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	高島 文乃 実務経験: トリミングサロン/トリマー				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬の手入れ方法、シャンプー、ブロー、クリッピングなどを実習で習得する。					
授業方法・形態	実習	講師			
犬種によって 1～3 名のグループに分かれて作業をする。					
授業計画・内容					
①	道具の説明		⑱	柴犬②	
②	道具の使い方		⑲	ゴールデンレトリバー①	
③	グルーミング作業説明①		⑳	ゴールデンレトリバー②	
④	グルーミング作業説明②		㉑	ウェルシュコーギー①	
⑤	グルーミング実践①		㉒	ウェルシュコーギー②	
⑥	グルーミング実践②		㉓	シェットランドシープドッグ①	
⑦	ビーグル①		㉔	シェットランドシープドッグ②	
⑧	ビーグル②		㉕	ミニチュアダックスフンド①	
⑨	ジャックラッセルテリア①		㉖	ビーグル③	
⑩	ジャックラッセルテリア②		㉗	ジャックラッセルテリア③	
⑪	パピヨン①		㉘	パピヨン③	
⑫	パピヨン②		㉙	ラブラドルレトリバー③	
⑬	ラブラドルレトリバー①		⑳	ボーダーコリー③	
⑭	ラブラドルレトリバー②		㉑	柴犬③	
⑮	ボーダーコリー①		㉒	ゴールデンレトリバー③	
⑯	ボーダーコリー②		㉓	ウェルシュコーギー③	
⑰	柴犬①		㉔	シェットランドシープドッグ③	
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	犬と生活していく上で必要不可欠なグルーミング。トリミングテーブルの上で犬をコントロールして大人しく作業させるという意味ではトレーナーの資質を問われる授業である。				
教科書・参考書・資料・参考文献					

授業科目	トリミング実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間×3 (合計 270 時間)	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	高島 文乃 /:実務経験:トリミングサロン/トリマー				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬のカット方法を実際の犬を使って実習で習得する。1 年次に習得するライセンス 3 級・2 級を目標に自習に取り組む。同時に生き物を扱うことの意識を深める。クラスメイトとの作業を通して協調性を身に付ける。					
授業方法・形態	実習	講師			
授業は実習を中心とする。実習で使う犬の種類や大きさによって、1～3 名のグループに分かれて作業を行う。繰り返し作業を続けることで理解を深め技術を高めていく。更に 1 つ 1 つの作業時間の短縮を目指していく。					
授業計画・内容					
①	道具の名称・使い方	⑮	ライセンス 3 級 練習 (時間短縮)		
②	グルーミング作業 (小型犬)	⑯	ライセンス 2 級 ケネル&ラムクリップ始動		
③	グルーミング作業・はさみの持ち方	⑰	ポメラニアントリミング①		
④	プードルのクリッピング	⑱	マルチーズトリミング③		
⑤	ケネル&ラムクリップ①	⑲	グルーミング作業 (大型犬)		
⑥	マルチーズのサマーカット①	⑳	ケネル&ラムクリップの理解を深める		
⑦	グルーミング作業 (中型犬)	㉑	ケネル&ラムクリップ カット時間を意識する		
⑧	シーズーのサマーカット①	㉒	ケネル&ラムクリップ カット時間短縮を目標にする		
⑨	プードルのケネル&ラムクリップ	㉓	シーズーのサマーカット③		
⑩	プードルのクリッピング (目標時間設定)	㉔	ミニチュアシュナウザーのクリッピング注意点		
⑪	ケネル&ラムクリップ (目標時間設定)	㉕	ミニチュアシュナウザートリミング①		
⑫	マルチーズのサマーカット②	㉖	ライセンス 2 級 模擬①		
⑬	ケネル&ラムクリップ (個体にあったカットの説明)	㉗	接客実践・お客様相手にお預かりとお返し		
⑭	グルーミング作業 (大型犬)	㉘	ポメラニアントリミング②		
⑮	ライセンス 3 級 練習	㉙	ライセンス 2 級 模擬②		
⑯	ケネル&ラムクリップ③	㉚	ミニチュアシュナウザートリミング②		
⑰	シーズーのサマーカット②	㉛	ケネル&ラムクリップ 2 年生に向けての課題		
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	はさみを使ったり、生きている犬を扱っているので私語や授業態度に厳しく対応しているため、集中して実習を行っている。日々の授業では成長を感じることは中々無いが、3 ヶ月、6 ヶ月、1 年と振り返ると大きく成長した自分を実感できる。				
教科書・参考書・資料・参考文献	教本				
書名:「最新ドッググルーミングマニュアル」 発行所 一般社団法人ジャパンケネルクラブ					

授業科目	動物検査学実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間×3 (合計 270 時間)	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	酒井 晴子 実務経験: 動物テーマパーク/飼育員、動物看護師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
講義で習得した知識の実践とし、診療現場に必要な検体検査及び生体検査に関する基本的手技を習得する。					
授業方法・形態	実習	講師			
実習を中心にグループワークを行う。受講生間で意見を出し合い、自分自身の臨床検査の正確さと動物看護技術の向上を目指す。					
授業計画・内容					
①	臨床検査 概論①目的・意義				
②	臨床検査 概論②生体の観察・検査項目				
③	臨床検査 概論③スクリーニング検査について				
④	検体処理 概論①目的・意義				
⑤	検体処理 概論②検査項目の選択				
⑥	検体処理 採決方法・保存方法				
⑦	検体処理 血液抗凝固材				
⑧	顕微鏡 概論①各部名称				
⑨	顕微鏡 概論②操作法・メンテナンス法				
⑩	顕微鏡 倍率・条件				
⑪	顕微鏡 スライドの管理・保管				
⑫	血液検査 概論				
⑬	血液検査 CBC 検査				
⑭	血液検査 ①血液塗抹標本				
⑮	血液検査 ②血液塗抹標本				
⑯	血液検査 生化学検査				
⑰	血液検査 輸血・クロスマッチ				
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	本講義では、グループワークによって講義が進むため、受講生間の実技や理解度の差を埋めることができる。そのため評価は受講生間・教員とのコミュニケーションを重視する。他人の意見に耳を傾ける・自分の意見を発言することをこの講義を通して身につけてほしい。				
教科書・参考書・資料・参考文献	動物看護コアテキスト動物看護の実践 6				

授業科目	動物看護総合実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間×3 (合計 270 時間)	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	酒井 晴子 実務経験: 動物テーマパーク/飼育員、動物看護師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
臨床現場にておいての動物看護師の役割について、実践の場で習得する。					
授業方法・形態	実習	講師			
講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な臨床に関する基本的手技を習得する。					
授業計画・内容					
①	動物看護業務の理解①				
②	動物看護業務の理解②				
③	動物看護業務の理解③				
④	動物看護業務の体験①				
⑤	動物看護業務の体験②				
⑥	動物看護業務の体験③				
⑦	動物看護業務の体験④				
⑧	動物看護業務の体験⑤				
⑨	動物看護業務の体験⑥				
⑩	動物看護業務の体験⑦				
⑪	動物看護業務の実践①				
⑫	動物看護業務の実践②				
⑬	動物看護業務の実践③				
⑭	動物看護業務の実践④				
⑮	動物看護業務の実践⑤				
⑯	動物看護業務の実践⑥				
⑰	動物看護業務の実践⑦				
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	即戦力として病院で働けることを目指す。動物看護学で習った知識を応用させ、技術の習得を目指す。				
教科書・参考書・資料・参考文献					
書名:「動物看護コアテキスト 第5巻」 出版社 ファームプレス					
書名:「動物看護コアテキスト 第6巻」 出版社 ファームプレス					

授業科目	繁殖学実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	選択		時間数	90 時間×3 (合計 270 時間)	
科目設置学科	通信制ペット学科	開講学年	1、2、3 年次	学期	前期・後期
担当教員	寺崎 修司 実務経験: 動物テーマパーク/飼育員				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬の交配、出産などの管理を実習で習得する。。					
授業方法・形態	実習	講師			
つくばわんわんランドの飼育場、産室、子犬展示館等を用いての実習を中心とした授業とする。					
授業計画・内容					
①	オリエンテーション		⑮	子犬の授乳実習 2	
②	犬に慣れる 1 散歩など		⑯	子犬の授乳実習 3	
③	犬に慣れる 2 ブラッシングなど		⑰	子犬の授乳実習 4	
④	犬に慣れる 3 耳掃除など		⑱	子犬の離乳食実習 1	
⑤	犬に慣れる 4 爪切りなど		⑳	子犬の離乳食実習 2	
⑥	犬舎掃除実習		㉑	子犬の離乳食実習 3	
⑦	犬のケージ洗い、組み立てを学ぶ		㉒	子犬の離乳食実習 4	
⑧	犬の交配シミュレーション		㉓	子犬の離乳食実習 5	
⑨	犬の交配 1		㉔	子犬のパピートレーニング 1	
⑩	犬の交配 2		㉕	子犬のパピートレーニング 2	
⑪	犬の交配 3		㉖	子犬のパピートレーニング 3	
⑫	「隔離」飼育のシミュレーション		㉗	子犬のパピートレーニング 4	
⑬	「隔離」飼育を学ぶ 1		㉘	子犬のパピートレーニング 5	
⑭	「隔離」飼育を学ぶ 2		㉙	子犬のパピートレーニング 6	
⑮	「隔離」飼育を学ぶ 3		㉚	総合実習 1	
⑯	「隔離」飼育を学ぶ 4		㉛	総合実習 2	
⑰	子犬の授乳実習 1		㉜	総合実習 3	
評価方法	出席状況、受講状況を考慮して成績を評価する。				
受講生に対するメッセージ	実際の子犬を使用した実習を十分に経験できるため、とても良い技術が身に付くので、自身を以て仕事に活かして欲しい。				
教科書・参考書・資料・参考文献					